

東京都高齢者福祉施設協議会

団体案内



「東京の介護ってすばらしいグランプリ」（詳細は 7 頁参照）の写真部門で
入賞（左上）、優秀賞（右下）を受賞した作品です。



マスコットキャラクター
「アクティブル」

《目次》

- 組織概要 ----- 2
- 人材育成への取り組み ----- 4
- 調査研究活動、提言・要望活動 --- 6
- 広報活動・情報発信、災害対応 --- 7
- 入会のご案内 ----- 裏表紙



組織概要

東社協 東京都高齢者福祉施設協議会とは
———東京の高齢者福祉を推進する団体です

・会長あいさつ

東京都は、豊かな自然が残る島しょ部・山間部から、活気あふれる市部、そして政治・経済・文化が集積する区部まで、まさに日本の多様性を映し出すかのような顔を持っています。そのため、多岐にわたる、そして複雑な課題に直面しています。特に、高齢者福祉・介護の分野では、サービスの需要が年々高まる一方で、それを支える人材の確保が喫緊の課題となっています。この深刻な人手不足は、質の高いケアを持続的に提供していく上で大きな障壁です。

東京都高齢者福祉施設協議会（以下、高齢協という）の会員施設は、高齢者福祉・介護の担い手としてその役割を果たすべく、全力で取り組んでおります。高齢協は、未来を担う人材の確保、質の高いサービスを提供するための育成・定着支援に力を注ぎ、多様な研修を通じて専門性の向上を図っています。

また、現場の声に基づいた政策提言を行い、地域のニーズに応える制度の実現を目指しています。大規模災害に備え、高齢者の安全を守るためのネットワーク構築にも積極的に取り組んでいます。

これらの活動を通じて、都内の高齢者のみなさまが、住み慣れた地域で安心して、尊厳を持って暮らし続けられる社会の実現に尽くします。

皆様の温かいご理解とご支援をお願い申し上げます。



東京都高齢者福祉施設協議会

会長 田中 雅英

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会（東社協）とは

社会福祉に関わるさまざまな課題の解決や、福祉サービスの向上などを目的として、広報・啓発や調査研究、講座・研修、ボランティア・市民活動の推進、権利擁護、福祉人材の確保、施策提言など、幅広い活動を行っている公共性の高い非営利の民間団体です。また、児童や障害児者、母子などの各業種別に部会を組織し、それぞれの課題への取り組みを通じて東京の福祉力向上に努めています。

東京都高齢者福祉施設協議会（高齢協）とは

東社協の業種別部会連絡協議会に属する部会の一つとして、東京都内の特別養護老人ホーム・養護老人ホーム・軽費老人ホーム・地域包括支援センター・在宅介護支援センター・デイサービスセンターを会員とする組織です（約 1,200 事業所）。

東京の高齢者福祉の発展と、福祉サービスの質の向上を目指して、業種別・職種別・テーマ別などさまざまな委員会活動を通して、研修会の企画や調査研究、提言活動、ネットワークづくりに取り組んでいます。

《構成会員》

都内の特別養護老人ホーム・養護老人ホーム・軽費老人ホーム・地域包括支援センター・在宅介護支援センター・デイサービスセンター

●沿革（年表）

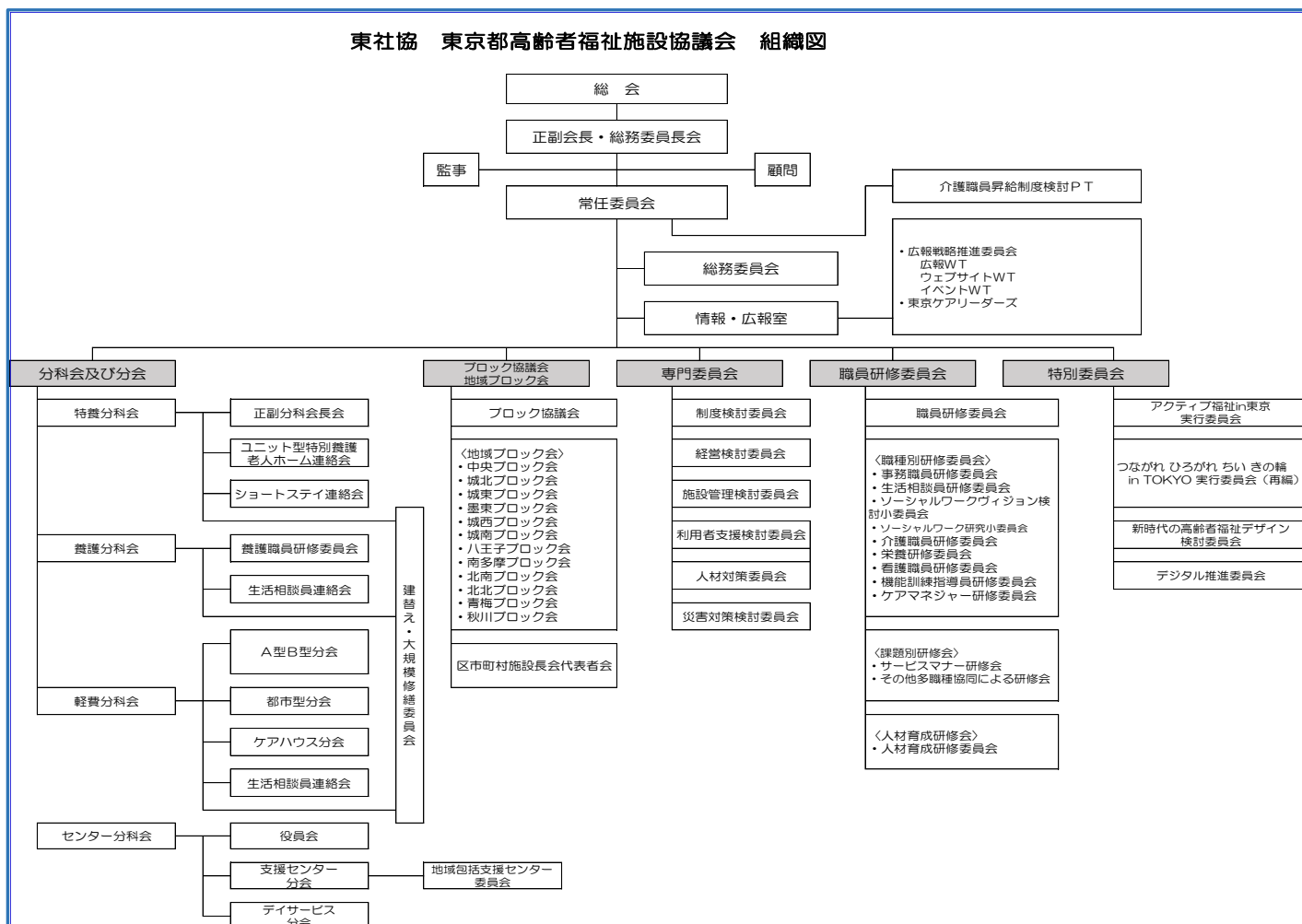
- ・1956 老人福祉部会発足
- ・1985 老人福祉部会の中にケアセンター分科会を設置
- ・1993 ケアセンター分科会がセンター部会として独立
- ・2005 老人福祉部会から高齢者福祉施設部会へ名称変更
- ・2014 高齢者福祉施設部会とセンター部会が統合し、東京都高齢者福祉施設協議会に名称変更



高齢協では大都市東京における福祉・地域包括ケアの担い手としてこれからも期待に応えていくために、都民への約束としてまとめたのが以下の「7つの宣言」です。

- 1 私たちは、質の高い高齢者福祉・介護サービスを提供します。
- 2 私たちは、地域が求める高齢者福祉・介護サービスをつくります。
- 3 私たちは、さまざまな課題を抱える高齢者の暮らしを守ります。
- 4 私たちは、生活困窮者支援などの地域公益活動をすすめます。
- 5 私たちは、地域の防災拠点としての役割を果たします。
- 6 私たちは、高齢者福祉を担う人材の確保をすすめます。

これらの宣言に基づき、高齢協では様々な取り組みを行っています。



人材育成への取り組み

施設長や専門職である現場職員に求められる技術や知識、心構えを学ぶためのさまざまな研修会を実施しています。また研修内容によっては集合形式ではなく、オンライン配信の研修も実施しています。

- 1 高齢者福祉・介護分野で活躍する著名な講師による研修が、リーズナブルな参加費で受講できます。
- 2 現場の職員自ら企画・立案・運営する研修だからこそ、今もっとも知りたい情報が得られます。
- 3 国や東京都の最新動向・情報を提供しています。
- 4 東京都高齢者福祉施設協議会のネットワークを活かし、都内のさまざまな施設・事業所の事例を知ることができます。
- 5 他の施設で働く同職種・異職種それぞれの職員との情報交換と交流の機会が得られます。



●施設長、管理者、各業務担当者向け研修

■採用担当者研修・情報交換会

採用活動だけではなく、採用後の定着のための方策を考えたり、他の施設との情報交換を通じて人材確保のヒントを得ることを目的に開催しています。

■特別養護老人ホーム経営実態調査 フォローアップ研修

調査結果（6頁の特養ホーム基礎調査参照）から見える、都内特別養護老人ホームの傾向と課題を学び、その対策や、経営改善や組織の方向性づくりにつなげるヒントを得る場としています。

■避難所運営ゲームHUG（社会福祉施設バージョン）の貸出しおよびファシリテーターの派遣

HUGは特別養護老人ホームを舞台とし、大地震直後から施設の利用者やその家族、一般避難者等が押し寄せてきたという想定で、入所者の安全確保、建物の被害状況の把握や応急処置などの一連の状況を模擬体験できるゲームです。HUGの貸出しだけでなく、ファシリテーターを派遣し、BCPの研修として活用いただいています。

●アクティブ福祉in東京

毎年、高齢者福祉実践・研究大会「アクティブ福祉in東京」を開催しています。日々の介護現場での取り組み・実践、施設、個人、グループでの研究成果などを発表する学会形式の研究大会です。近年は、40題の口演発表が行われ、高齢者福祉施設従事者だけでなく、一般都民や学生を含め、約800名が参加しています。



●職種別・職種横断研修など

職員研修委員会について

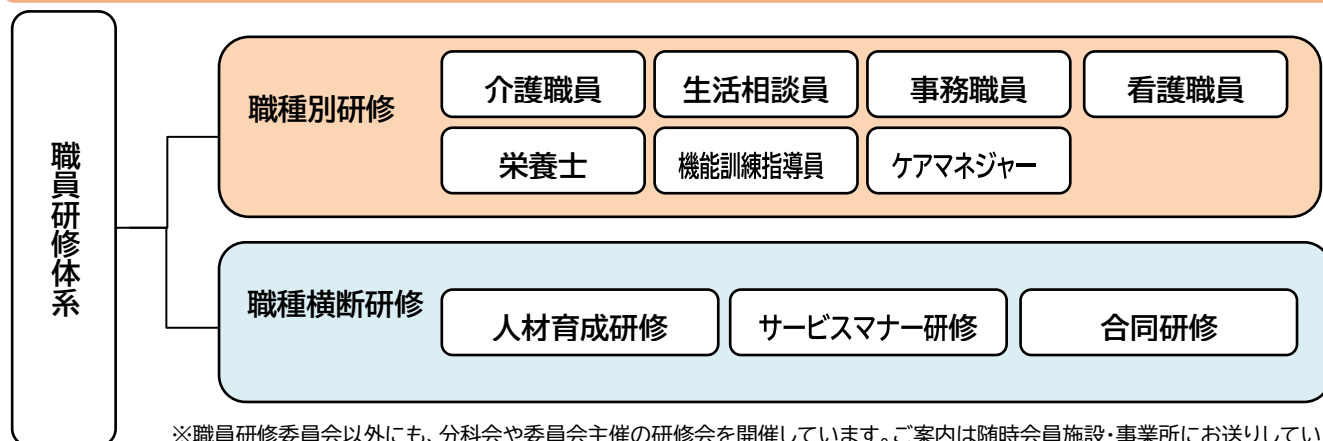
職員研修委員会は、東京都高齢者福祉施設協議会における委員会活動の一つであり、本委員会である職員研修委員会と、下記8つの職種別委員会で構成しています。

各委員会とも、会員施設・事業所の施設長や職員のうち、都内各地域ブロック会の推薦や、公募参加により、20名程度のメンバーで活動しています。



●事務職員研修委員会 事務職員は、施設により担当する仕事内容が異なり、相談場所がないことでお悩みの方も多くなります。研修の企画や情報交換を通して悩みを共有し、問題解決を図っています。	●生活相談員研修委員会 施設においてリーダーシップを発揮できる生活相談員を育成します。通年研修では、ソーシャルワークの学びを深め、その他課題別研修等、相談員としてスキルアップできる研修会を企画しています。
●介護職員研修委員会 介護職員としての専門性を高める研修会の企画をするとともに、各施設での悩みや問題を一緒に解決するために情報交換を行っています。	●看護職員研修委員会 施設と病院でのギャップに悩んでいる看護師が、役割を見失うことなく、自信を持ってケアに携われるよう、研修会を企画しています。
●栄養研修委員会 「食」という重要な部門に携わるプロ、また専門職集団としてよりレベルアップを図るべく、新しいアイデアづくりなどに努めています。	●機能訓練指導員研修委員会 施設での機能訓練指導員の仕事・役割や、日頃の業務における悩みについて共有できるよう、研修会の他に情報交換会も企画しています。
●ケアマネジャー研修委員会 研修会の企画を通していち早く情報をキャッチし、介護支援専門員としてそれを効果的に伝える「企画力」「説明力」を学んでいます。	●人材育成研修委員会 職種に関わらず、主任・係長など部下を指導、育成する立場の中間管理者として必要な知識や技術を身につけてもらうための研修を企画運営しています。

東京都高齢者福祉施設協議会の職員研修体系



※職員研修委員会以外にも、分科会や委員会主催の研修会を開催しています。ご案内は随時会員施設・事業所にお送りしています。

●法定研修動画の配信（令和7年月より6月より配信予定）

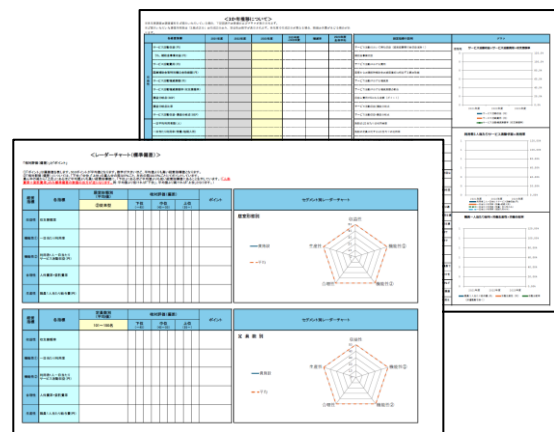
介護保険法や介護サービス情報公表制度等で必須とされる研修の配信を随時開始します。動画1本あたり15分程度で、空いた時間に学ぶことができます。

調査研究活動、提言・要望活動

●特別養護老人ホーム基礎調査

毎年、各専門委員会では「経営実態調査」や「入所待機者調査」、「介護職員・人材確保状況に関する調査」などを実施しています。2023年より、各調査を一本化した「基礎調査」システムを構築して、調査の効率化を図り、要望・提案活動のガバナンスとしています。

調査結果をもとに、報告書の作成や研修会の実施など、会員施設へのフィードバックを行うとともに、厚生労働省をはじめとする行政機関ならびに議会などへの要望・提言のエビデンスとして活用しています。



「経営実態調査」では全体の集計だけでなく、集計結果に基づいた回答施設の診断結果をお返ししています。

・東京都内特別養護老人ホーム入所(居)待機者に関する実態調査

特養ホームの入所待機者の実態をより正確に把握し、入所を必要とする都民が、すぐに都内の特養を利用できる仕組みづくりを進めるため、調査を実施しています。

・外国人介護職員・支援員の雇用状況等についての実態調査結果

外国人介護職員・支援員受入れ状況と受入れ・育成の課題を把握することを目的に、都内の特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホームを対象に実施した調査を実施しています。

・デジタル機器（介護ロボット・ITC 機器）等の導入及び活用に関する実態調査

機器の導入及び活用にかかる知見の共有と情報提供を目的に調査を実施しています。

●提言・要望活動

調査研究活動で明らかになった課題を解決するため、東京都や都内区市町村等に提言・要望を行っています。特にここ数年は物価高騰や人件費アップに伴う支援を国や東京都、区市町村に対して要望しています。

・地域福祉推進に関する提言

東社協内の「高齢協」を含めた施設種別ごとの部会・連絡会にて提言を作成し、自らの取り組みや東京都や区市町村の支援方を提言しています。



・要望活動

東京都の高齢者福祉施設予算や国への制度改正の要望等を行っています。



東京都予算に対する知事ヒアリングでの要望

広報活動・情報発信、災害対応

●高齢協や会員施設の活動内容の発信

・広報誌

高齢協での活動や会員施設・事業所での取組みを会員内外に発信しています。(年4回発行)

・WEBサイト・SNS

研修申込、各種資料ダウンロード、調査回答、会員施設検索、研究発表抄録検索などの機能があり、会員活動の利便性向上を図っています。

また、Facebookなどを開設し、広く都民へのPR活動にも取り組んでいます。最終ページのQRコードからお入りください。



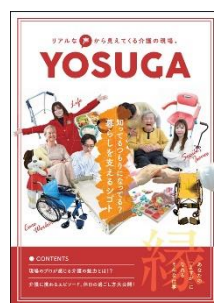
●介護の魅力発信

・東京ケアリーダーズによる活動

若手介護職員を中心に結成しているユニットです。介護の魅力をイベントや本にまとめて紹介するなどの活動をしています。

・「東京の介護ってすばらしいグランプリ」の実施

東京の介護の魅力を伝えるために、多様な場面にスポットをあて、介護の魅力を広くPRする、年に一度のグランプリイベントです。福祉や介護サービスのご利用者、ご家族、一般の方、福祉施設・事業所の職員の方など、どなたからでも、作品を募集。優秀作品には豪華賞金・賞品を贈呈。2024年度は「動画」「写真」「コラム」「レシピ」の4部門で実施。(表紙の写真は受賞作品)



・「つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO」の実施

高齢者福祉施設・事業所による地域に開かれた取組みを増やし、PRする目的で、2016年度から開始しました。高齢協の会員施設・事業所にて9～11月の期間中に行われる地域交流・介護予防・学びの機会などを周知しています。



●災害対応

・「災害時被害状況把握システム」の活用

会員施設・事業所の被害状況等の把握を行い、「近隣会員同士の相互応援」や、「非被災会員による被災会員への遠方応援」等に活用しています。

・「災害支援基金」の運用

大規模災害が発生した場合に相互に協力し、支援にあたるために必要な財源を確保するため、基金を設置しています。これまで被災施設への見舞金や応援派遣に係わる経費等に活用しています。

・被災施設等への職員派遣

東京都災害福祉広域支援ネットワークに参画し、都内および都外での大規模災害発生時に要配慮者への福祉的支援を行う「東京都災害派遣福祉チーム(東京 DWAT)」を通じて、被災地への支援を行っています。



令和6年能登半島地震に伴う
避難所での支援活動

入会のご案内

東社協入会のメリット

従事者共済会に 加入できます

施設・団体従事者の
退職共済金の給付、
貸付や
福利厚生事業などを
行っています。

福祉広報を 購読できます

福祉に関する
最新の情報を盛り込んだ
東社協の広報誌を
毎月お届けします。

損害保険に 加入できます

ボランティア保険、
施設損害賠償責任保険、
介護事業者総合保険、
労災上乗せ保険など
各種損害保険のご案内をしています。

会員加入手続き

- 東京都社会福祉協議会ホームページ(<https://www.tcsw.tvac.or.jp/form/shiryo.html>)に掲載している本会定款及び会員に関する規定、会員憲章等をご一読いただき、内容に同意をいただいた上で、「会員(施設・団体等)加入資料請求フォーム」より入会申込書をご請求ください。
- フォーム送付の段階では会員登録完了とはなりません。入会申込書のご提出をもって会員登録となります。

※入会申込書等を受理後、1週間程度で協議会活動の案内・通知類が送付されるようになります。

※会員登録の詳細は、

総務部庶務担当にお問い合わせください。 >> ☎ 03-3268-7171

会費について

- 会費は、社会福祉法人東京都社会福祉協議会会員規程に基づき、毎年度の理事会にて決定いたします。
- 会費は、本会の法人運営全般にわたる事業、事務経費等に充当するものです。
- 会費額は、部会・連絡会への所属の有無、法人格の有無、施設定員の規模(社会福祉施設の場合)等によって異なります。
- 会費は年額としており、毎年1回(8~10月頃)、請求書を郵送しております。

東京の高齢者福祉情報発信中！



公式サイト

東京 高齢協 🔍



facebook

@tokyokourei



X (旧Twitter)

@TokyoKourei



Instagram

@Koureikyou



YouTube

東社協東京都高齢者
福祉施設協議会チャンネル



事務局

社会福祉法人東京都社会福祉協議会 東京都社会福祉協議会 福祉部 高齢担当
TEL: 03-3268-7172 FAX: 03-3268-0635 HP: <http://www.tcsw.tvac.or.jp/>